

2007年10月25日

アステラス製薬株式会社／ファイザー株式会社

動脈硬化性疾患予防啓発活動「コレステロール甘くみない!!!」**心筋梗塞経験者の“徳光和夫さん”が
テレビCMで自身の健康管理を反省！****～ 10月27日(土)より放映開始 ～**

アステラス製薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：野木森雅郁）とファイザー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岩崎博充）は、7月より展開しております、動脈硬化性疾患啓発活動「コレステロール甘くみない!!!」の一環として、疾患経験者である徳光和夫氏を起用したテレビCMを10月27日(土)より全国で放映します。

今回のテレビCMでは、心筋梗塞経験者である徳光さんが自身の発症経験をもとに「いかにコレステロールに対して無知であったか」「健康に関して無関心であったか」を反省しながら、視聴者の方々に健康管理の重要性、受診の大切さを伝える内容となっています。

また、テレビCMの放映に合わせ、7月より実施してきました新聞広告、専用WEBサイト「LDL-C.jp」、小冊子、院内ポスターなどの内容もリニューアルします。

小冊子「医師と始める、コレステロール・コントロール」では、2001年6月に心筋梗塞で倒れた徳光和夫さんのインタビューを、またWEBサイトでは、徳光さんが心筋梗塞を発症した時の状況や、発症前後でどのような意識変化があったかなど、独自の経験を通じて語る体験談ムービーを展開します。

アステラス製薬株式会社とファイザー株式会社では、テレビCM放映を機に動脈硬化性疾患予防啓発活動を通じて、高脂血症（脂質異常症）を原因とした動脈硬化性疾患の現状、コレステロール管理の重要性を多くの方々に知っていただき、少しでも動脈硬化性疾患の予防に貢献できるよう活動していきます。

**コレステロール甘くみない。まずお医者さんですよ、ね！**

■ 徳光和夫さん 起用の背景

徳光さんは、2001年6月に急性心筋梗塞を発症されましたが、早期発見が功を奏し、緊急手術によって一命をとりとめ、約1ヶ月入院ののち復帰されました。

今回、徳光さんにテレビCMの出演をお願いしたのは、発症の一因として高コレステロールが考えられたため、復帰後の現在も定期的に通院し、医師とともにコレステロールの管理を続けているという背景が今回の活動の趣旨に当てはまったからです。また、疾患発症前の徳光さんの人物像が啓発活動のメインターゲットとなる、自己の健康管理が滞りがちな40代、50代の働くビジネスマン像と重なり、疾患予防を呼びかけるのに適任と考えたため、今回の起用となりました。

■ テレビCMについて

<CMの内容、あらすじ>

『徳光和夫 2001年6月 心筋梗塞で倒れる。』のテロップとともに、徳光和夫さんが心筋梗塞発症前の自身の健康管理について語る所から始まります。

「コレステロールというものに悪玉だ善玉だというものがあるなんて、全く知らなかった」「健康チェックというものに対して、どちらかと言えばアンチだった」「大甘でしたね」という反省の言葉に続き、『コレステロール甘くみない!!!』『LDL(悪玉)コレステロール値健康診断で高いと指摘されたら、医師に相談を。』と受診を呼びかける文字画面に変わります。

その後、徳光さんが再び登場し、自身の反省をもとに「まず、お医者さんですよ」と視聴者の方へ早期の受診を勧める内容となっています。

<CM撮影時のエピソード>

撮影は9月中旬の晴れた日に、都内のスタジオで行われました。

徳光さんご自身の心筋梗塞発症の経験をベースにするという繊細な企画内容であったため、スタッフ一同、徳光さんのメンタルケアに配慮しましたが、そんな心配をよそに、元アナウンサーの腕前をいかんなく発揮し、撮影は約2時間半という短時間で終了することができました。

また、会話の端々から、現在のLDLコレステロール値や尿酸値など、ご自身の数値をきっちり把握していることから、日々の健康管理が行き届いていることが伝わってきました。

撮影後には、スタッフから『徳光和夫 巨人軍一筋様』と書かれた、ペットボトルにかけるネームプレートを贈られ、喜んでいる姿が印象的でした。

■ 徳光和夫さん プロフィール

氏名：徳光 和夫（とくみつ かずお）

生年月日：昭和16年3月10日

1963年 日本テレビ入社 アナウンサーとして、数多くの番組で活躍

1989年 独立してフリーに

2001年 急性心筋梗塞を発症。緊急手術で一命をとりとめ、約1ヶ月の入院ののち復帰

<30 秒バージョン>



徳光さん「あのコレステロールってのが、
悪玉、善玉。っていうのがあるってことも
知らなかったし」



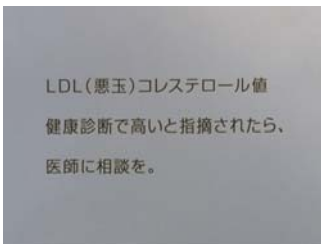
徳光さん「ほんとあの、健康チェックってことに
関しましては、どちらかといえばアンチ
だったですね」



徳光さん「まあ、大甘でしたね」



ナレーション: コレステロール甘くみない。
LDLコレステロール値が高いと
指摘されたら、



ナレーション: 医師に相談を。
効果的な改善方法がきっと見つかる
はずです。



徳光さん「まずお医者さんですよ、ね！」



【動脈硬化性疾患予防啓発活動「コレステロール甘くみない!!!」概要】

■ 背景

心筋梗塞や脳卒中などの動脈硬化性疾患は、わが国の死因の3分の1を占める重篤な疾患であり*、これほどまでに発症者が多い理由として、高血圧、高コレステロール（脂質異常）、高血糖といった症状に対して未治療の人や治療を行っていても目標値に達していない人が多いことが考えられます。特に、コレステロールに関しては、高血圧や高血糖に比べて危機意識が薄く、「自覚症状が無い」、「生活習慣を変えれば大丈夫」といった理由で検査数値が高くても受診しない人が多く、知らず知らずのうちに動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中など命に関わる疾患につながるケースがあります。*平成16年厚生労働省人口動態統計より推計

そうした高脂血症（脂質異常症）を原因とした動脈硬化性疾患の現状、コレステロール管理の重要性を一般市民の方々に知っていただき、疾患の予防につなげることを目的に啓発活動を展開しています。

■ 内容:

① テレビCM放映

- 徳光和夫さんがご自身の闘病経験をもとにコレステロール管理の重要性、病院受診の必要性を語るテレビCMを放映いたします。
(2007年10月27日～11月25日の期間で放映予定)

② 新聞における広告展開

- 全国紙、ブロック紙を中心に徳光さんが登場し、ご自身の闘病経験をもとに高コレステロール放置への注意を喚起する広告を掲載いたします。

③ 動脈硬化性疾患予防啓発ウェブサイト「エル・ディー・エル・ハイフン・シー・jp (<http://www.LDL-C.jp>)」「LDL甘くみない」(検索)のリニューアル

- 「コレステロールが気になる方のための情報サイト」では、従来の内容に加え、徳光さんが実際に心筋梗塞を発症した時の状況や、疾患経験前後でどのような意識変容があったかなど、独自の経験を通じて語る体験談ムービーを展開します。

④ 小冊子「医師と始める、コレステロール・コントロール」の無料配布

- コレステロール・コントロールについて分かりやすく解説した小冊子「医師と始める、コレステロール・コントロール」(監修:帝京大学医学部内科学主任教授 寺本民生先生(日本動脈硬化学会理事))をリニューアルし、応募された方全員に無料で配布します。小冊子では、実際に心筋梗塞で倒れた徳光和夫さんの闘病経験インタビューを掲載。読み応えのある内容となっています。

応募方法) はがきでのお申し込み:

〒112-8691 小石川支店 私書箱84号(T)

コレステロール甘くみない!!!キャンペーン事務局係

FAXでのお申し込み:03-5610-3091

コレステロール甘くみない!!!キャンペーン事務局係

WEBサイトでのお申し込み: <http://www.LDL-C.jp> より

締切) 2007年12月31日(月)

⑤ 院内ポスターの掲示

- 徳光さんが登場する啓発ポスターを制作。全国の病院・診療所に掲示を依頼し、コレステロールへの注意喚起、病院での受診の必要性を啓発します。

—— この件に関するお問い合わせ先 ——

アステラス製薬株式会社	広報部	電話:03-3244-3201
ファイザー株式会社	製品広報部	電話:03-5309-6719